



The Friendship Force of Western Tokyo

No. 8
2008 January



ウエルカムパーティでのマレーブリッジクラブのアンバサダー達

2008 年予定

総 会

2月2日(土) 11時30分～14時
ホテル・ザ・エルシー 龍皇
問合せ先 高垣(幸子) 042-796-6797

受け入れ

ブラチスラバ、スロバキア
10月6日(月)～10月12日(日)
問合せ先 高垣(孝) 042-796-6797

World Friendship Day

総会時に同時開催

渡 航

クリーブランド カウンティ、イギリス
6月7日(土)～6月14日(土)予定
問合せ先 佐原 042-795-2245

関東ブロック会議

埼玉クラブ主催

11月(予定)

世界大会

ゴールドコースト 10月2日(木)～5日(日)
問合せ先 柳川 03-3419-3018

2009 年 日本大会

西東京クラブ主催

2009年2月27日(金)予定

2007 世界大会に参加して

高垣 孝

2007年2月28日～3月3日まで、アトランタ市でFFI設立30周年記念の世界大会が開かれました。世界各国から300名以上の参加があったようですが、日本からは私を含め10名くらいの参加でした。3月1日の夜のディナーパーティは、巨大なジョージア水族館の中の宴会場で開かれました。宴会の前に、この巨大水族館で多数の珍しい魚類、海の動物、植物を楽しみました。



東京クラブ余村会長ら参加者と柳川会長

宴会中、アトランタ青少年クワイヤが、各国の民謡を美しいコーラスで披露し、国際ムードを盛り上げていました。会場では、日本大会にもよく来ている George Brown 会長や日本担当だった Debbie Powell さんだけでなく、後任として、新しく日本の渡航関係の担当となった Maryam Jordan にも会ってきました。



石井 嗣代さん、Ms. Maryam Jordan

今回の世界大会で目立ったのは、インド、アフリカ、中国、ベトナム、インドネシア等の新興国の参加でした。特に最後の閉会式で、インドの代表によるマハトマ・ガンジーを称える、伝統音楽、踊りを含む儀式が行われたのは印象的でした。インドは世界経済だけでなく、FFでも注目される存在となりそうです。

その他、会期中いろいろなセッションが開かれましたが “Think Globally, Act Locally” “Exchanges that Make a Difference” “Global Youth Institute” 等、興味深い話題がありました。特に最後の若い人 (15～20歳) を対象とした国際交流プログラムは、今後FFを活性化するためにも、日本の学生も積極的に参加する時代が来ればと願いつつ、アトランタを後にしました。

Raleigh クラブ渡航

今村 佐知子

今年の渡航は3月3日から8日までノースカロライナの州都 Raleigh へのリターンヴィジトでした。総勢10名の小グループは7家庭にステイ。豊かな自然に広大な土地と家。人口密度の違いとは言えやはり羨ましい限りです。花水木(市の花)の傍で餌を啄む cardinal(市の鳥)を眺めながらの朝食はFFのメンバーでしか味わえない特権かもしれません。

2日目の夜は welcome party でした。余興は全てアンバサダーにお任せとの事で私達は山本 ED の下練習の成果を発表しました。下手ながらも拍手を頂き花をもたせてもらいました。



山本 ED、Bob Gay 会長、Doyle ED

又到着早々配られたアジェンダの素晴らしい事。日時を詳細に記したスケジュール表、ホストファミリーやデイホストの連絡先、町の紹介など項目別に色分けし名前入りで作成してあるのです。分かりやすいアジェンダはゲストに安心感を与え思い出を鮮明にしてくれます。テキパキとした Doyle ED の下、Raleigh Club はメンバー同士の連係プレイが実に良く役割分担も見事でした。南部特有な暖かさときめ細かなもてなしを受け6日間は瞬く間に過ぎていきました。

秋の受け入れでは石井 ED の下この時の経験を生かし成功に終わったと思っています。

2007 Asia-Pacific Festival に参加して
佐原 泰子

2007年4月4日より8日までの期間 アジア・パシフィック・フェスティバルが名古屋にてF.F.愛知クラブ主宰により開催され、私は4日のウェルカムパーティーと5日、6日名古屋城と徳川美術館、彦根城と琵琶湖バスツアーに参加しました。



名古屋城の桜の前で(愛知クラブ提供)

“城と桜”をテーマとしたこのフェスティバルはまさに満開の桜のもとに開かれ、愛知クラブ富岡会長をはじめとして、加藤実行委員長、鷹野APF事務局その他の方々の多大なるご努力により大成功だったと思います。FFI代表としてマッケンジー理事長も最後までプログラムに参加されましたが、その他なんとアメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリア・韓国・台湾・タイ・ベトナムと多くの国から120名もの会員が参加され、また日本国内からも延べ600名を超える参加者ということで、いつものことながら再会を喜び合ったり友情を確かめあったりと、賑やかな風景があちらこちらで見受けられ楽しく盛大なウェルカムパーティーから始まりました。

“満開の桜と名古屋城”そして近くには徳川美術館や彦根城などなど日本の歴史が多く刻まれて、しかもトヨタやノリタケなどの日本が誇りとする技術の宝庫でもあり、期間中の観光も色々工夫されていましたし、日本で開催されるフェスティバルとしては申し分の無い場所柄でもあったと思います。その上このクラブでも大変苦労することですが、気まぐれな天気と桜の開花に合わせて開催するという離れ技を成功させたのもひとえに愛知クラブメンバーの気持ちが天に届いたものだったに違いありません。

西東京クラブとしては2009年の日本大会を開催する大役を担っているので愛知クラブメンバーの役割分担や意気込みなど参考になることが多く、フェスティバルに参加したことを参考に2009年に向けて力を合わせて行きたいと思っています。

マレーブリッジからの受け入れ
(9月30日～10月6日) 竹田 敏子

受け入れ直前、佐原さんのお宅に招かれ体験談をお聞きし、笑い転げるうちにホスト役のモードに入り、安心して当日を迎えました。

ツアーにご一緒したのは2日目の渋谷の電力館見学、佐方さん宅のお茶会だけですが皆さんの積極的な姿勢とパワーには、一日で疲れた私には心底驚きでした。毎夕食後、ラウブッシュ夫妻と同じ年の私達は孫の話、老後の話(今?)、年金や公共料金等共通の話題に花が咲き楽しかったです(会話力少々、想像力大部分)。FF西東京の皆さん、家族や陽子さんのサポートで気負わずに新しい経験が出来た事を感謝します。サンキューディナーの最後に皆で手を繋ぎFFの歌を唄い感動しました。



サンキューディナー

虫明陽子さんの感想記

未だ西東京の会員ではありませんでした。それが、“お暇でしたら遊びに来ませんか”の一言で、嵌ってしまったかも知れません。お迎えしたラウブッシュ夫妻との一時はそれ程楽しく新鮮な体験でした。敷居を跨いだ瞬間から我が家の様に寛いだ様子、豊富な話題、素晴らしい美声で歌は勿論、気さくな話振りはつい私の英語も結構”イケル”なんて勘違いする程で・・・又”ぜひマレーブリッジに”とお誘い戴くと、直さまチケット予約をしようか。。と乗せられ易い私でした。入会した今、新たな出会いや期待でワクワクしています。

長女 山口真理子の感想

バリーとウエンディーの温かな人柄に初めて会ったとは思えない親しみを感じました。距離は離れておりますが末永くお付き合いさせていただきたいです。有難う御座いました。

次女 東 純子の感想

バリーは持参したテープを流しながらアボリジニの民謡を歌ってくれました。それは何処か懐かしく心が温かく成りました。次に私は、今日本で流行ってい

る英語の歌を唄ったら、笑顔で知っていると共に唄ってくれました。歌を通して楽しい時間を共有し心がとても満たされました。

主人 竹田威彦の感想

一番の思い出は散歩、毎朝 6 時から約一時間雨が降っても、バリーの習慣に付き合った六日間でしたが大変健康的な日々でした。同い年のバリーは明るく気さくで温かかったです。国際交流に成ったと自画自賛しています。



ディナーホスト宅での竹田夫妻とサンバサダー達
(今回の受け入れに際して、東京クラブより多大なるご支援を頂き、素晴らしい交換になりました。)

第 21 回日本大会

山口から西東京へFF大会旗が

椰川 善一

去る 10 月 21・22 日山口県宇部市文化会館での日本大会には、石井夫妻、高垣、村上、今村と椰川の 6 名が参加。5 年前から準備に入ったという山口クラブの心の籠った手厚いアテンドと、手作りのキメ細かい設営は一同大いに勉強になりました。分科会をやめて全体会議で一緒に様々な問題を討議する方式も、議題の周到な準備と議長の上手な進行で有意義な成果を上げました。



代表者会議では三年越しの「日本大会開催頻度」という懸案も、昨年の山形では 15 クラブあった隔年開催希望が 9 クラブに激減、結局光浦会長の手綱さばきよろしく原則は毎年、但し世界大会など日本で開催の他の大会との関連で隔年もOKと確定しました。よって我々が主宰する次回は 2009 年 2 月と正式に決って、その夜国際ホテルでの懇親会の最後に、緑の日本大会旗を、私が、受け取りました。



日本大会旗の前での西東京会員

さあもう逃げも隠れもできません。一年後には首都にふさわしい日本大会を我々西東京クラブの手で設営して、150 人以上の Friendship Force の仲間たちを日本中からお迎えすることとなります。年末に西東京クラブ役員総参加の準備委員会を立ち上げました。

会員の皆さんにはこれから様々な準備作業をお願いしてゆくこととなりますが、どうか精鋭西東京クラブ総力挙げてのご協力を、心からお願い申し上げます。

2008年度会費納入のお願い

本会の活動は会員の皆様の温かいご支援によって運営されています。本年も更なる会の発展と活動のために、ご協力をいただかなければなりません。同封の「郵便振込用紙」により年会費 3,000 円の納入を 2 月末日までをお願いいたします。(会則第 6 条)

編集発行: ザ・フレンドシップフォース・西東京

事務局: 東京都世田谷区上馬 2-37-12-701

椰川 善一

Tel & Fax : 03-3419-3018

e-mail : w-tokyo@friendshipforce.jp